

<研究名称>

脳出血急性期患者における意識障害下での MMSE の妥当性の検証

<実施責任者および実施担当者>

リハビリテーション科 作業療法士 松本 幸樹

<研究期間>

倫理委員会承認日 ～ 2026 年 4 月 30 日まで

<診療・研究の目的>

脳出血を起こした直後の患者さんでは、記憶力や注意力などの「認知機能」が低下することがあります。また、多くの患者さんに意識の低下がみられます。

当院では、認知機能を調べる検査として「MMSE（ミニメンタルステート検査）」という簡単なテストを行っています。しかし、意識がはっきりしていない状態で行った MMSE の結果が、どの程度正確に認知機能を反映しているのかは、はっきりしていません。

この研究では、リハビリ開始時の意識レベル、同時期に行った MMSE の結果、退院時の日常生活動作（身の回りのことがどのくらいできるか）との関係を調べることで、意識が低下している状態でも MMSE がどの程度役立つ検査なのかを明らかにすることを目的としています。

<実施内容（方法）>

本研究は、これまで当院に入院された脳出血の患者さんの診療録（カルテ）情報を用いて行う後ろ向き観察研究です。

<対象となる方>

当院に入院された脳出血急性期の患者さんのうち、入院翌日にリハビリテーションを開始された方、その際に意識レベル（JCS）と MMSE を評価された方を対象とします。

<調べる内容>

カルテから以下の情報を使用します。MMSE の点数（認知機能の検査）、JCS（意識レベルの評価）、退院時の Barthel Index（生活動作の評価）、年齢、性別、出血の大きさ、手術の有無、認知症の既往、せん妄の有無 など

※この研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

<危険性（副作用）等>

本研究は、すでに行われた診療の情報を使用するものであり、新たな検査や治療は行いません。そのため、患者さんに新たな負担や危険はありません。

<倫理上問題になると考えられる事項>

本研究では、個人情報に厳重に守ります。お名前や患者番号など、個人が特定できる情報は削除します。データは匿名化したうえで解析します。研究成果を学会や論文で発表する場合も、個人が特定されることはありません。

<予定対象数>

61 例

<実施場所>

旭川赤十字病院

<研究への参加を希望されない場合（オプトアウト）>

本研究は、過去の診療情報を用いた研究のため、個別に同意書はいただいております。しかし、ご自身の情報を研究に使用してほしくない場合は、下記までご連絡ください。お申し出があった場合は、その方の情報は研究に使用いたしません。なお、お申し出によって診療上の不利益を受けることは一切ありません。

<問い合わせ先>

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 リハビリテーション科

松本 幸樹

TEL：0166-22-8111

FAX：0166-24-4648